

「世界につながる平和活動とは」

2025 年渡英報告・パネルディスカッション

2025 年 8 月 10 日 (日)
10 時 30 分～13 時 30 分

10:30 ～11:15 渡英報告会

11:20 ～12:30 パネルディスカッション

12:30 ～13:30 懇親会

ZOOM (ライブ・ウェビナー) :

ミーティング ID: 823 2231 9843

パスコード: 516189

<https://us02web.zoom.us/j/82322319843?pwd=iFQoxiVOz4cCubyiajND4rud2BbhjU.1>

[wd=iFQoxiVOz4cCubyiajND4rud2BbhjU.1](https://us02web.zoom.us/j/82322319843?pwd=iFQoxiVOz4cCubyiajND4rud2BbhjU.1)



諫早市たらみ図書館

長崎県諫早市多良見町木床 2002 番地

電話番号 : 0957-43-4611

J R : 「喜々津駅」より徒歩 15 分

バス : 「喜々津駅通」下車徒歩 20 分

「多良見支所前」下車徒歩 10 分

車 : 国道 34 号線より 3 分

図書館専用駐車場 (無料)

入場無料



概要:

原爆投下から 80 年の節目である今年 5 月、「長崎県被爆者手帳友の会」は会員 3 名をイギリスに派遣し、中高生や大学生、文化交流グループなどが参加し、ロンドンなど 4 つの会場で被爆体験の紹介や出席者との対話を実施しました。「長崎を、原爆が使われた最後の場所にしよう」というメッセージに心を動かされたという声も多くあり、長崎から平和についての発信をしていくことの大切さをあらためて感じる機会となりました。

今回のイベントでは、イギリスでの活動報告に加え、絶えない紛争と増長される核の脅威がある現状の中、長崎から世界とつながり、平和の大切さを伝えていくために「いま何ができるか」をテーマにしたパネルディスカッションを行います。また、参加者との交流の時間を通じて、共に考え会話する時間をもちたいと思います。

これからの平和活動のあり方を一緒に考えてみませんか？みなさんのご参加をお待ちしています。

登壇者:

■ 渡英報告:

・本村 チヨ子 : 被爆者・友の会監査役

・大瀧 知子 : 被爆 2 世・友の会他平和活動
団体会員

■ パネルディスカッション:

・鈴木 達治郎 : パグウォッシュ会議執行委員
長、NPO 法人ピースデポ代表

・ウニ クリシュナン : 国際 NGO プラン・インターナショナル人道支援ディレクター

・前田 真里 : Peace by Peace NAGASAKI
代表、フリーアナウンサー

・増川 雅一 : 長崎原爆被災者協議会・被爆体験
講話講師

・山口 響 : 「長崎の証言の会」被爆証言誌編集長
大学等での核問題についての講師

●登壇者紹介

・報告会



本村 チヨ子

長崎県出身。長崎被爆者手帳友の会監査役として会の活動を支える。6歳での被爆体験を伝える活動を国内外で続けている。



大瀧 知子

長崎市出身。長崎被爆者手帳友の会員として、被爆者の海外での講和活動の支援を継続している他、キッズ・ゲルニカ等の平和につながる活動を続けている。



有馬 純枝

ボランティアとして今回の渡英の裏方役。英語通訳やメディア関連作業及びイギリスでのボランティア人員調整等をおこなった。

・パネルディスカッション



鈴木 達治郎

工学博士（原子力）。内閣府原子力委員会委員長代理、長崎大学核兵器廃絶研究センター長等を歴任。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団パグウォッシュ会議執行委員長、NPO 法人ピースデポの代表として活動をしている。



ウニ クリシュナン

インド・ケララ出身。国際 NGO プラン・インターナショナル人道支援ディレクター。若い頃から草の根の活動を継続しつつ、平和や人道に関する執筆活動も行っている。



前田 真里

長崎市生まれ。Peace by Peace NAGASAKI 代表、フリーアナウンサー。学校や公民館で朗読や出張講座をして「平和」について考える場づくりを行っている。



増川 雅一

長崎市生まれ。元 NBC 長崎放送記者・ディレクター。4歳で被爆した自らの体験を国内外の人々に広く伝える活動を続けている。ナガサキピーススフィア貝の火運動理事。



山口 響

長崎県生まれ。「長崎の証言の会」被爆証言誌編集長。長崎大学・長崎県立大学・長崎総合科学大学・長崎女子短期大学・活水高校で核や原爆の問題について講義。長崎新聞「ながさき時評」欄担当。